



令和3年9月
横浜市立恩田小学校
TEL (961) 7651
FAX (961) 6014



体験はアイデアのヒントになる！

校長 ほうらい きしこ 寶來 生志子

「ヤゴを見たことのない子どもたちには是非見てもらいたい。興味をもったら、飼育する体験もできたらいいな。」こんな思いから、プール清掃前にプールにいるヤゴを捕まえました。そして、朝会で次のような話をしました。

マジックテープを発明した人は、オナモミが服についてなかなか取れなかったという体験をヒントにしたそうです。「アイデアは、体験したことがヒントになって生まれる」と聞いたことがあります。みなさんもいろいろな体験ができるといいですね。今、校長室にはプールにいた生き物がいます。そして、虫はかせの堀切さんにいただいたカブトムシやクワガタムシもいます。是非見にきてみてください。

その日から、休み時間になるとたくさんの子どもたちが校長室に来ました。「ヤゴを飼ってみたいです。明日、ペットボトルを持ってきます。」と言いに来る子どももいました。クラスで飼い始めると、ヤゴが餌を食べる様子を観察した時の感動を話してくる子どももいました。

トンボになるのを心待ちにして世話を続けていても、脱皮や羽化に失敗して死んでしまうヤゴもいました。「脱皮って命がけなんだな。」とつぶやく子どももいました。校長室で羽化したトンボは、子どもたちと一緒に空に放ちました。

「夏休みも虫を飼う体験が続けられたらいいな。」という思いから「虫のホームステイ」を考えました。「万が一、飼育中に死んでしまっても責任は問いません。虫を飼ってみませんか。」と呼びかけたところ、42人の応募がありました。夏休み前の最終日、「先生から預かった虫、大切に育てるからね。」と力強い言葉を残して帰って行った子どももいました。

コロナ禍での学校再開になりますが、豊かな体験ができるよう、教職員一同全力で子どもたちを支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力、ご支援をお願いいたします。

